

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	絞扼性腸閉塞手術時のインドシアニンググリーン蛍光造影法を用いた腸管切除判定基準の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2018 年以降、当院で絞扼性腸閉塞に対する緊急手術を受けられた患者さんが対象です
③概要	絞扼性腸閉塞の手術に関して、腸管を切除する量が多くなった場合、栄養の吸収障害などの問題が出現し、改善することが難しい状態となってしまいます。しかし、人間の肉眼では絞扼されていた腸管の血流が戻っているかを直接観察することができないため、判断は経験則となるのが現状です。この問題を手術中に血管にインドシアニンググリーン（以下 ICG）という色素を注入し、赤外線カメラで観察すると蛍光してみえることをお要して腸管の血流を可視化できるようにする方法があり、保険適応もされています。当科ではこの蛍光法での評価を基に、なるべく無用な切除を抑える切除基準を検討するため本研究を計画しました。
④申請番号	E2025000701
⑤研究の目的・意義	当院で施行された絞扼性腸閉塞症例の ICG 造影所見と術中方針、治療経過などを評価し、切除基準の妥当性と安全性を評価します。
⑥研究期間	2018 年 1 月から 2025 年 4 月までの既に電子カルテ上に存在するデータを使用します
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、画像所見、臨床経過を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、併存症）、血液検査結果、画像所見（CT 検査、手術中記録映像）、臨床経過（術後経過や手術後合併症の有無、創部感染の有無）など
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 消化器外科・一般外科 部長 佐藤 洋
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院 消化器外科・一般外科 部長 佐藤 洋 Tel : 025-777-3200 E-mail : doc-yosato@med.niigata-u.ac.jp